

2027年度

大学院 入学試験要項

【在学生内部推薦】

文化創造研究科

教育学研究科

心理医療科学研究科

健康栄養科学研究科

グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科

ビジネス研究科

目 次

大学院アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)	1
研究科別アドミッション・ポリシー	1
研究科別各専修概要	5
研究科別入学者選抜方法	
文化創造研究科 博士前期課程	8
教育学研究科 修士課程	9
心理医療科学研究科 博士前期課程	10
健康栄養科学研究科 修士課程	11
グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科 博士前期課程	12
ビジネス研究科 博士前期課程	13
合否判定の方法および基準について	14
出願時の注意	14
入学検定料払込方法	16
受験票・写真票について	17
試験会場(星が丘キャンパス)案内	17
合格発表・入学手続	17
学納金	18
奨学金	20
長期履修学生制度	21
成績開示について	21
過去の入試問題について	21
不正行為の取り扱いについて	
入試に関する生成AI(ChatGPTなど)の取り扱いについて	

個人情報の取り扱いについて

愛知淑徳大学では、個人情報は「個人情報の保護に関する法律」に基づいて、厳重に管理します。

出願に際してお知らせいただいた氏名、住所、電話番号、その他の個人情報は、志願者への連絡や、入学試験用データとして利用します。これらの個人情報は、愛知淑徳大学に入学された後、入学者用データとして、教学および大学生活全般に関する業務ならびにこれらに付随する業務をおこなうために利用します。また、愛知淑徳大学関連団体がおこなう同様の業務のためにも利用します。

なお、これらの業務は、愛知淑徳大学および愛知淑徳大学関連団体より当該業務の委託を受けた業者(以下、「受託業者」といいます)においておこなう場合があります。この業務委託にあたり、受託業者に対して、委託業務を遂行するために必要となる範囲で、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。あらかじめご了承ください。

大学院アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

愛知淑徳大学は、「違いを共に生きる」を理念として掲げ、性別、国籍、年齢、異なった能力など、さまざまな違いをもつ者が共に学ぶ環境づくりに努めている。その環境の中で繰り広げられる多彩な教育・研究活動を通じて、広い視野と深い思考力を身につけ、時々刻々と変化する現象に対する洞察力と時代を先取りする先見性を獲得し、さらに、新たな価値の発見とその普及のための優れた実践力が養成されている。このような伝統を継承し、さらに推し進めるための学生受け入れ方針として、多様な入試制度を導入している。

大学院は高度な教養による自己実現能力、高度な知識・技能による専門的職業能力もしくは高度な学識による専門的研究能力を培うことを目的としているが、「違いを共に生きる」という教育理念は学部と共通である。そのために、博士前期・修士課程においては、専門領域の学力、研究計画および適性(面接)試験による一般入試、社会人および外国人留学生を対象として行う特別選抜入試、さらに学部と大学院が連携して行う在学生内部推薦入試を用意している。博士後期課程においては、前期課程の達成を前提にした一般入試を行い、さらに一部の研究科において社会人および外国人留学生を対象として行う特別選抜入試を実施している。

研究科別アドミッション・ポリシー

■文化創造研究科

〈教育・研究目的〉

科学技術の発展とともに人類の文明は長足の進歩を遂げたが、一方では精神文化の荒廃をも招く皮肉な事態を迎えている。そのような現代社会を生きる我々は、古人の精神的到達と蓄積された知恵とに学び、一方では文明の本質を見極めかつその成果としての利器を使いこなしながら、生活の規範ともいべき新しい「文化」を創造していかなければならない。その方法を実践的に探求することが、本研究科の教育・研究目的である。

そのために、本研究科は国文学、図書館情報学、感性工学*、創作表現、メディアプロデュースおよび建築・インテリアデザインという、「表象」という点で共通項を持つ異分野をあえて一つの専攻にまとめた。そして、この6専修のうちの一つを学びのホームグラウンドとして定め、そこを起点として他の専修にも幅を広げることのできる学際的な教育・研究活動を行う。

その結果として、博士前期課程においては、専修の分野に関する高度の専門的知識および能力ならびに当該専修の分野における基礎的素養を身につける。また、博士後期課程においては、広い視野に立つ精深な学識を身につけるとともに、専修の分野における研究能力またはこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培う。

〈学生に期待すること〉

博士前期課程においては、各専修の専門的な研究の深化にとどまらず、他専修の学修を通じた学際的な視野をも身につけることにより、多角的あるいは複眼的な思考法および表現法を獲得することを期待する。

博士後期課程においては、博士前期課程における学修・研究成果を踏まえて、社会、文化および人間相互の関わりをより広い視野に立って探究し、時代の要請に応え得る特に高度な専門的能力・識見を身につけることを期待する。

〈学生募集に際して重視すること〉

博士前期課程においては、自らの研究課題が現代社会における文化創造にどのように寄与できるのか、という問題意識について自覚的であるかどうか、そしてそれを不断に持ち続けられるかどうかを重視する。

博士後期課程においては、博士前期課程における学修・研究を踏まえて、独自性と普遍性を併せ持つさらに高度な研究成果を上げ得るかどうか、そしてそれが文化創造に具体的に寄与し得る提案としての可能性を有しているかどうかを重視する。

〈入学前学修として推奨すること〉

博士前期課程においては、学びのホームグラウンドの確立、言い換えるなら現在在籍している学部・学科の専門分野(どんな分野であれ)の学修を可能な限り深めておくことを推奨する。

博士後期課程においては、博士前期課程の成果に対する徹底的な検証と、今後の研究に関する精密な計画の立案を推奨する。

■教育学研究科

〈教育・研究目的〉

子どもたちや学校を取り巻く環境が大きく変化するなかで、教員に対してより高度な専門性が求められている。本研究科では、広い視野に立った精深な学識を有するとともに、卓越した実践能力を併せ持つ、小学校教員をはじめとする教育界の指導的人材を育成することを目指している。その目的を実現するために、教育の主たる活動の場である学校における教科教育を中心に教育を考える教育学専修と、人間の発達の可能性とその促進という面から教育を捉える子ども発達専修の2つの専修を設け、それぞれに応じた深い学修・研究を行うとともに、各専修のどちらかに偏ることなく、それぞれを有機的に関連づけることでより幅広く対応できるように「教育研究科目」「教育科学科目」「教科教育科目」「子ども発達科目」「実践展開科目」から構成される体系的なカリキュラムを編成している。

また、本研究科では、教育目的に沿って、学生のニーズに応じて学生が学部で取得した教員免許状とは異なる校種の教員免許状取得を認めている。とくに文学部教育学科と連携して、在学中に小学校教諭一種免許状、特別支援学校教諭一種免許状の取得が可能である。

研究においては、入学時から修了まで、学生各自の研究テーマに沿って指導教員によるきめ細かな指導を行う。

〈学生に期待すること〉

人間の教育や発達に関する問題を論理的に捉え、分析・考察することを通して、新しい時代の教育に対応できる高度な専門的知識と確かな実践力を兼ね備えた教員や教育界での指導者となることを期待している。

〈学生募集に際して重視すること〉

これからの望ましい教育に対する強い関心と、それを実現しようとする熱い志を有するとともに、独りよがりにならずに客観的な視点から冷静に問題を捉えることができるかどうかを重視する。

〈入学前学修として推奨すること〉

人間の教育や発達についての原理、指導法に関する基礎的な学力と知識をできるだけ身につけておくことを望む。

■心理医療科学研究科

〈教育・研究目的〉

私たちの生き方の基本原理は、経済性と効率のよさを追求する“ビジネスの原理”から、人間性を大切にこそ豊かな生活者であろうとする“いのちの原理”へと、大きな方向転換のときを迎えている。本研究科は、心と体の両面からいのちと人生と生活の質(QOL=Quality of Life)を捉え直し、それを高める方策を見直し、新たに得られた知見を社会に還元し地域貢献に生かすことのできる、高度な専門性と学際性を持った研究者、実践者の育成を目的としている。

〈学生に期待すること〉

前期課程においては、大学卒業の水準に見合った科学的で論理的な思考力を有すること、および専門分野について、自立した研究者としての研究技能と知識を修得する意欲があり、独自の研究課題と問題意識が明確で、その課題に対して主体的に取り組む姿勢を有していることを、基本条件として考えている。

後期課程においては、それに加えて、当該学問分野の学術的発展および教育に貢献しようという高い志を有していることが期待される。すなわち、専門分野における研究者としてだけではなく、将来にわたり研究者の指導と養成に携わる意欲と資質を持った入学者を、選抜することを想定している。

〈学生募集に際して重視すること〉

すべての入試形態において、修学意欲が高くそれぞれの専門分野への志望動機が明確で、専門分野に関する基礎知識を有していることと、前期課程においては2年間の、後期課程においては3年間の研

究計画が具体化されていることの2点を中心に、専門分野への適性を考慮して可否の判定を行う。

〈入学前学修として推奨すること〉

自分の専修に偏らずに、近接する学問分野についても関心を寄せ、柔軟な思考力と発想力を培うような学習スキルの獲得が推奨される。それが、実践を通して学び、研究成果を実践の場に還元するための力になっていく。

■健康栄養科学研究科

〈教育・研究目的〉

少子高齢化が急速に進む我が国において、現在の医療・介護と栄養を取り巻く社会的要請としては、「高齢者が地域で自立した生活を営むために、栄養を含む医療や介護領域の多職種間の連携を強化してこれを支援する、それによって、要介護状態に陥ることを防ぎ健康寿命を延伸する」ことにあると言える。本研究科は、このような背景の下で、「栄養を含む医療や介護領域において、高度かつ先進的な知識や技術に基づいて、地域が抱える諸問題を多職種連携の中でリーダーシップを発揮しながら解決していく高度専門職業人」を養成することを目的とする。

〈学生に期待すること〉

本研究科の教育・研究目的を達成するために、入学生には以下の能力を期待する。

- (1) 栄養学を構成する人間、食物、環境、さらには栄養学に関連する生理学から臨床医学領域における学士課程修了相当の基礎的な知識・技能
 - (2) 栄養学に関する問題を自ら発見し、問題解決に向け、科学的根拠に基づいて実証的に分析し、論理的に思考する能力
 - (3) 高いコミュニケーション能力を用いて他職種と協働でき、積極的かつ主体的にチームを牽引する能力
- 上述する能力に加えて、大学院における学修や研究に真摯に取り組む姿勢や意欲を有する者を求める。

〈学生募集に際して重視すること〉

全ての入試形態において、栄養学とそれに関連する学問領域の基礎的知識を有していることが大前提である。それに加えて、2年間の学修・研究計画が具体化されていることを重視する。その上で、希望する専門分野への適性や当該学問分野の学術的発展や後進の育成に貢献しようという意欲と高い志を評価して可否判定を行う。

〈入学前学修として推奨すること〉

栄養を含む医療や介護領域にとどまらず、広い視野で人間社会を俯瞰するような視点を有することを心がけてほしい。人類学や社会学、行動科学や心理学などにも興味を示してその領域の学修を深めてほしい。

■グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科

〈教育・研究目的〉

急速な変容を遂げている現代国際社会は、国家間及び民族間の協調共存の維持と同時に、個人の活動を含め、信頼関係に立った実践的な貢献の必要性を各国の市民に問うている。本研究科が目指しているのは、異文化理解、市民交流の意識を持って社会に実践的に働きかける人材を育成することである。さらに「違いを共に生きる」を理念とし、社会人の再教育の場及び自己実現の場を提供している。

本研究科は学生の研究テーマに基づき、言語文化コースと交流文化コースの2つに分かれている。言語文化コースは、日本語・日本語教育専修、総合英語専修、東アジア言語文化専修、そして交流文化コースは国際交流・観光専修及びグローバルスタディーズ専修に細分され、それぞれの学生の研究が深められるような授業が提供されている。

〈学生に期待すること〉

博士前期課程では学部教育で培った専門領域に関する基礎知識を基に、自らの設定した特定課題を広い視野から批判的な目を持って追究し、意見を様々な言語で表現する能力を持つ者、また高めていき

たい者を求めている。強い意志と意欲で研究し、その結果を人々の生活や社会の発展に貢献しようとする態度を持っていることが重要視される。博士後期課程では前期課程での学修等を基盤に、独自の視点と研究方法により研究テーマに対してあらたな発見をもたらす学問の発展や社会問題の解決に寄与することを目標としていることを期待する。

〈学生募集に際して重視すること〉

博士前期課程では、人々の行動を社会、文化、ビジネス、そして言語やコミュニケーションなどの理論的視点からその現状を把握、分析することはもとより、さまざまな文化圏の人々がより豊かな生活を享受するために自分の研究を役立てたいと考えている学生の出願を歓迎する。また、博士後期課程へ出願する者は、独自の研究テーマを一層専門的に研究し、将来は専門の研究領域に関する高度な知識と技術を必要とする業務に従事しようとする意欲を持つことが望まれる。

〈入学前学修として推奨すること〉

本研究科博士前期課程にて実りある研究活動を行うために、英語をはじめとする外国語コミュニケーションスキル、人間の本質を理解しようとする好奇心、世界のさまざまな出来事・問題を分析する力、その結果を適切な言葉で表現、伝達する技術を所属学部・学科での学修を通して培うことを推奨する。一方、博士後期課程では、より意義深く精緻な研究を実施するため、関連分野の理論や研究法に関する知識を十分に身につけることにより、あらかじめ研究の基盤を構築しておくことを推奨する。

■ビジネス研究科

〈教育・研究目的〉

ビジネス研究科は、ビジネス関連領域の研究・教育を通じた「社会課題の解決と価値創出」を基本理念としている。この理念を実現するため、ビジネス研究科は、ビジネス専攻(博士課程)1専攻とし、高度な専門的学識の獲得および研究を深めるとともに、学際的研究視野をも身につけ、高次元の課題解決を追求することを教育の目的とする。

博士前期課程では、この目標を実現するため専門的職業人コース(ビジネスプロフェSSIONALコース)と研究者養成コース(リサーチプロフェSSIONALコース)という2つの修了要件を設けている。専門的職業人コースは、所定の単位を修得すれば修士論文を必須とはせず、課題研究レポートをもって代えることができる。研究者養成コースは博士後期課程への進学を視野に研究能力を高めることを目指す。

博士後期課程では、広い視野に立つ高度な学識、分析能力を身につけるとともに、高度な専門性が求められる職業を担うための能力を培う。

〈学生に期待すること〉

高度な知識とスキルを獲得する意欲、培った知識をベースに創造力と構想力のある提言を行い、プロフェSSIONALとして活動することが求められる。

特に博士後期課程の学生については、修了後も研究テーマに強い意欲を持ち続け、自立した研究者として学術活動の進歩と発展に貢献する人材となることが期待される。

〈学生募集に際して重視すること〉

多様な学歴と経歴を持つ学生を受け入れるが、それぞれの分野で学修に必要な、十分な知識を持つことが求められる。論理的にものごとを分析、考察する能力と共に、研究テーマに強い意欲を持ち続けられる学生を歓迎する。

特に博士後期課程の学生については、研究者としてさらなる学問的発展を目指す意欲を有することが求められる。

〈入学前学修として推奨すること〉

博士前期課程においては、経営学、商学、経済学などビジネスに関する学問分野についての可能な限り高い知識を修得するとともに、経済・政治・社会などのニュースにも積極的にアクセスし、幅広く関心をもつことが望まれる。また研究分野やその近接領域については、学修をさらに深めておくことを推奨する。

博士後期課程においては、博士前期課程、修士課程での成果等に対する再検証と今後の研究に関する精緻な計画の立案を推奨する。

研究科別各専修概要

■文化創造研究科 文化創造専攻

【国文学専修】(定員：前期課程7名程度、後期課程1～2名)

古代から現代に至る日本文学および日本語学を中心に、隣接諸領域を含む幅広い学修・研究を実践的に行います。科目履修による指定要件を満たせば、高等学校および中学校の国語科教諭専修免許状を取得できます。

【図書館情報学専修】(定員：前期課程6名程度、後期課程1～2名)

図書館研究を軸に、印刷体からデジタルまでの情報メディアの機能および情報流通・サービスの研究、ならびに知識情報資源のマネジメント、情報探索行動および知識情報処理の研究など、その応用分野について多彩な学修・研究を行います。

【感性工学専修*】(定員：前期課程6名程度、後期課程1～2名)

感性工学専修では、AIやテクノロジーを活用しながら、人に寄り添うデザインやモノづくりを追求する学修と研究を行います。アプリ・システム開発、人間工学、交通工学、計算科学などの知見をもとに、人に優しく豊かな生活や体験を提案・創造し、これからの社会に貢献する人材を育成します。

【創作表現専修】(定員：前期課程7名程度、後期課程1～2名)

短歌、小説、評論、童話、戯曲などの活字を媒体とする創造的表現活動を主な研究課題とし、理論と実践の両面を高いレベルで身につけた、創造的かつ先鋭な表現者を社会へ送り出します。

【メディアプロデュース専修】(定員：前期課程7名程度、後期課程1～2名)

現代のコミュニケーション活動や表象文化を支えるさまざまなメディアについて、表現形式や制作技術にとどまらずその歴史的、文化的、社会的背景にまで目を向け、メディア表現の理論を学ぶとともに制作や調査などを交えて総合的に研究します。

【建築・インテリアデザイン専修】(定員：前期課程7名程度、後期課程1～2名)

建築とインテリアを一体として捉え、工学的・芸術的な視点だけでなく、文化的・社会的側面など隣接諸領域との関わりを重視して、理論と応用の両面から多面的かつ総合的な学修・研究を行います。

■教育学研究科 発達教育専攻

【教育学専修】(定員：修士課程5名程度)

教育の主たる活動の場である学校における教育を中心に考えます。教育科学や教科教育などの専門的研究を基に、学校を主とした教育現場での実践の内容や方法等について検討し考察を深めます。

【子ども発達専修】(定員：修士課程5名程度)

教育を人間の発達の可能性とその促進という面から捉えます。学齢期だけでなく就学前期も含めた人間の発達過程における教育の内容や意義、また何らかの原因で通常の発達過程をたどれない子どもたちへの教育の方法等について詳しく検討していきます。

■心理医療科学研究科 心理医療科学専攻

【心理学専修】(定員：前期課程7名程度、後期課程1～2名)

「生理・認知」「社会」「発達」の3つの側面から心理学についてのより高度な専門的知識や研究に必要な見識と技能を修得したうえで、人間の意識や行動を巨視と微視の両面から科学的に追究する高度専門職業人の育成を目指します。

【臨床心理学専修】(定員：前期課程15名程度、後期課程1～2名)

現代社会が抱える課題を視野に入れ、個人や家族、組織の病理や心理的問題に取り組むため、高度な研究的視点を持ち、対象者への取り組みを通して自らを成長させることのできる、心理臨床実践者の育成を目指します。臨床心理士と公認心理師の受験資格取得が可能なカリキュラムを準備しています。

【社会福祉学専修】(定員：前期課程7名程度、後期課程1～2名)

複雑化し、多様化の一途を辿る現代社会の福祉課題に取り組むことのできる人材の育成を目指して、乳幼児期から高齢期までの特性を理解しながら、専門諸分野の協働を可能とする研究的視点を持って、実践的な学修を進めます。

【言語聴覚学専修】(定員：前期課程7名程度、後期課程1～2名)

言語聴覚士としての専門性を磨きたい、または言語聴覚学研究に組みたい学生を対象に、基礎となる理念と専門知識を身につけたうえで、確かな研究技能の修得を通して、次世代の言語聴覚学研究の先端で活躍できる人材の育成を目指します。

【視覚科学専修】(定員：前期課程7名程度、後期課程1～2名)

視能訓練士としての専門性を磨きたい、視覚科学または視能矯正学の研究に組みたい学生を対象に、自己の問題意識を起点にして、視覚科学および医療科学全般にわたる広い学識に基き、視覚および視覚機能障害の問題に対して医学的・科学的に追究することのできる人材の育成を目指します。

【スポーツ・健康医科学専修】(定員：前期課程7名程度、後期課程1～2名)

超高齢社会の到来を視野に入れ、スポーツ科学、体育学、医学、栄養学、生理学のほか、社会科学、人文科学などの多角的視点を持って、人間の生涯にわたる「健康」を支えることのできる人材の育成を目指します。人間に取り組むための姿勢のほか、生体全体の医学的知識を基盤に置き、ライフステージに応じた健康維持と増進に資するための知識と技能を学びます。

■グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科 グローバルカルチャー・コミュニケーション専攻

〔言語文化コース〕

【日本語・日本語教育専修】(定員：前期課程10名程度、後期課程1～2名)

日本語・日本語教育専修では、日本語の言語面、運用面での特徴を語彙論、統語論、語用論などの理論的視点から追究する研究を通して日本語についてより専門的な知識を獲得すること、そして日本語を外国語及び第2言語として学習する人々に対する教育に関する理論的・実践的研究を実施し効果的な言語習得法を探究することを目標とします。

【総合英語専修】(定員：前期課程10名程度、後期課程1～2名)

総合英語専修では、英語の語彙面、構造面、音声面などにおける言語的特徴、そして英語に関する言語習得や言語教育に関する理論的な研究に加えて、文学や映画などの文化的産物を通して英語の背景にある社会や文化に焦点をあてた研究を実施する能力を養成します。それらの分野での研究活動を通して、英語、英語の運用、英語文化についてより深い知見を持った研究者や実践者を育成することを目標とします。

【東アジア言語文化専修】(定員：前期課程5名程度、後期課程1～2名)

東アジア言語文化専修では、主に中国語および韓国・朝鮮語に関して、言語の構造、語彙、言語運用面での特徴や言語教育に関する研究に加えて、その他の言語との比較研究、さらに文学や文化に焦点をあてた研究を行うことにより、それぞれの言語やその背景にある社会、歴史、文化に関しての高度な知識と理解を修得することを目指します。

〔交流文化コース〕

【国際交流・観光専修】(定員：前期課程5名程度、後期課程1～2名)

国際交流・観光専修では、グローバル化に伴う人の移動と接触、地域間での連帯や協力、そして国家間関係の歴史や現状を国際関係や国際交流という視点から知見を深める一方、近年特に注目をされている観光や街づくりをも研究対象とし、問題の発見・解決・提案というプロセスを中心にした理論的、実践的研究を行う力を培うことを目標とします。それらの研究を通して、社会の発展に寄与できる実践力を持つ人材の育成を目指します。

【グローバルスタディーズ専修】(定員：前期課程15名程度、後期課程1～2名)

グローバルスタディーズ専修では、グローバル化が進む国際社会における日本の姿に注目した研究、日本と海外の社会システム、言語や心理に関する比較研究を通し、異文化に精通した人材を育成します。また実践面では、異文化交流、教育、ビジネスの場面で国際語である英語を駆使しながら活躍できる人材の育成を目標としています。授業はすべて英語で行われます。

■ビジネス研究科 ビジネス専攻

【アカウンティング専修】(定員：前期課程10名程度、後期課程2～3名)

財務会計、管理会計、監査、税法など、会計に関連する科目を体系的に配置しています。各分野の研究者や、公認会計士、税理士の資格を持つ教員が、最新の制度や実務動向を踏まえた講義を展開しています。また、税理士試験の科目免除にも対応し、会計専門職をめざす学生を支援しています。

【マネジメント&エコノミー専修】(定員：前期課程10名程度、後期課程2～3名)

経営学、商学、経済学にまたがる科目を配置しており、学生は自らが専門とする分野のほか、隣接分野の科目についても幅広く学修することができます。各分野の研究者をはじめ、金融機関の出身者、現役のコンサルタントなど、多様なバックグラウンドをもつ教員が、実践的で高度な教育を行っています。

研究科別入学者選抜方法

■文化創造研究科 博士前期課程

募集人員	文化創造専攻(4月入学1期・2期) — 40名	
	※募集人員は、一般入試と特別選抜入試も含む。	
試験日	1期	2026年9月26日(土)
	2期	2027年2月22日(月)
出願資格	所属する学部・学科(専攻)における指導教員の推薦を受けた者。 ※ただし、2027年3月卒業見込みの者を対象とする。	
出願手続	A 事前相談 指導教員による推薦を希望する者は、出願期間初日の<u>2週間前までに</u>当該教員と相談のうえ、出願先の指導を希望する教員の内諾を得ること。 B 提出書類 本学所定用紙は、大学WEBサイトよりダウンロードする。 ① 志願票 本学所定用紙 ② 卒業見込証明書 ③ 成績証明書 ④ 研究計画概要 本学所定用紙(国文学専修：様式A、その他の専修：様式B) ⑤ 履歴書 本学所定用紙(様式C) ⑥ 推薦書 本学所定用紙 C 入学検定料 25,000円 コンビニエンスストアで払い込んでください(P.16参照)。 D 出願方法 出願期間内に入学検定料を払い込み、提出書類を郵便局窓口から「速達・簡易書留」で郵送してください。大学窓口での受付はございません。 〈郵送先〉〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23 愛知淑徳大学 アドミッションセンター 大学院入試係	
出願期間	1期	2026年8月27日(木)～9月7日(月)
	2期	2027年1月6日(水)～1月14日(木)
	※締切日消印有効	
選抜方法・配点	書類審査(50点)・面接(100点)	
試験時間割	入室	13:00
	面接	13:15～
試験会場	星が丘キャンパス TEL(052)781-1151(代表)	
合格発表日	1期	2026年10月2日(金)
	2期	2027年2月26日(金)
入学手続時 納入金締切日	1期	2026年11月11日(水)
	2期	2027年3月24日(水)

10月入学の募集はございません。

■教育学研究科 修士課程

募集人員	発達教育専攻(4月入学1期・2期) — 10名 ※募集人員は、一般入試と特別選抜入試も含む。	
試験日	1期	2026年9月26日(土)
	2期	2027年2月22日(月)
出願資格	所属する学部・学科(専攻)における指導教員の推薦を受けた者。 ※ただし、2027年3月卒業見込みの者を対象とする。	
出願手続	A 事前相談 指導教員による推薦を希望する者は、出願期間初日の<u>2週間前までに</u>当該教員と相談のうえ、出願先の指導を希望する教員の内諾を得ること。 B 提出書類 本学所定用紙は、大学WEBサイトよりダウンロードする。 ① 志願票 本学所定用紙 ② 卒業見込証明書 ③ 成績証明書 ④ 研究計画概要 本学所定用紙(様式B) ⑤ 履歴書 本学所定用紙(様式C) ⑥ 推薦書 本学所定用紙 ※ 長期履修学生制度(P.21参照)を希望する者は、出願提出書類の他に長期履修学生制度の申請書類も一緒に提出してください。 C 入学検定料 25,000円 コンビニエンスストアで払い込んでください(P.16参照)。 D 出願方法 出願期間内に入学検定料を払い込み、提出書類を郵便局窓口から「速達・簡易書留」で郵送してください。大学窓口での受付はございません。 〈郵送先〉〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23 愛知淑徳大学 アドミッションセンター 大学院入試係	
出願期間	1期	2026年8月27日(木)～9月7日(月)
	2期	2027年1月6日(水)～1月14日(木)
	※締切日消印有効	
選抜方法・配点	書類審査(10点)・面接(90点)	
試験時間割	入室	13:00
	面接	13:15～
試験会場	星が丘キャンパス TEL(052)781-1151(代表)	
合格発表日	1期	2026年10月2日(金)
	2期	2027年2月26日(金)
入学手続時 納入金締切日	1期	2026年11月11日(水)
	2期	2027年3月24日(水)

10月入学の募集はございません。

■心理医療科学研究科 博士前期課程

募集人員	心理医療科学専攻(4月入学1期・2期*) — 50名(ただし、臨床心理学専修は15名が上限) ※募集人員は、一般入試と特別選抜入試も含む。											
試験日	1期 2期*	2026年9月26日(土) 2027年2月22日(月)										
出願資格	次に指定する本学各学部の4年次に在学中で、指導教員の推薦を受けた者。 〈臨床心理学専修以外〉 人間情報学部、心理学部、健康医療科学部、福祉貢献学部 〈臨床心理学専修〉 心理学部 ※ただし、2027年3月卒業見込みの者を対象とする。											
出願手続	A 事前相談 指導教員による推薦を希望する者は、出願期間初日の2週間前までに当該教員と相談のうえ、出願先の指導を希望する教員の内諾を得ること。 B 提出書類 本学所定用紙は、大学WEBサイトよりダウンロードする。 ① 志願票 本学所定用紙 ② 卒業見込証明書 ③ 成績証明書 ④ 研究計画概要 本学所定用紙(様式B) ⑤ 履歴書 本学所定用紙(様式C) ⑥ 推薦書 本学所定用紙 ※ 長期履修学生制度(P.21参照)を希望する者は、出願提出書類の他に長期履修学生制度の申請書類も一緒に提出してください。 C 入学検定料 25,000円 コンビニエンスストアで払い込んでください(P.16参照)。 D 出願方法 出願期間内に入学検定料を払い込み、提出書類を郵便局窓口から「速達・簡易書留」で郵送してください。大学窓口での受付はございません。 〈郵送先〉〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23 愛知淑徳大学 アドミッションセンター 大学院入試係											
出願期間	1期 2期*	2026年8月27日(木)～9月7日(月) 2027年1月6日(水)～1月14日(木) ※締切日消印有効										
選抜方法・配点	書類審査(50点)・外国語試験(英語)(100点)・面接(50点)											
試験時間割	<table><tr><td>入室</td><td>8:55</td></tr><tr><td>外国語試験(英語)注1)</td><td>9:15～10:15</td></tr><tr><td>休憩</td><td>10:15～13:00</td></tr><tr><td>入室</td><td>13:00</td></tr><tr><td>面接 注2)</td><td>13:15～</td></tr></table>	入室	8:55	外国語試験(英語)注1)	9:15～10:15	休憩	10:15～13:00	入室	13:00	面接 注2)	13:15～	注1) 英和辞典1冊のみ使用可。ただし、電子辞書等機器類の持ち込み不可。 注2) 面接は午前中に実施される場合がある。
入室	8:55											
外国語試験(英語)注1)	9:15～10:15											
休憩	10:15～13:00											
入室	13:00											
面接 注2)	13:15～											
試験会場	星が丘キャンパス TEL(052)781-1151(代表)											
合格発表日	1期 2期*	2026年10月2日(金) 2027年2月26日(金)										
入学手続時 納入金締切日	1期 2期*	2026年11月11日(水) 2027年3月24日(水)										

10月入学の募集はおこないません。

*2期は臨床心理学専修を除く

健康栄養科学研究科 修士課程

募集人員	健康栄養科学専攻(4月入学1期・2期) — 6名	
	※募集人員は、一般入試と特別選抜入試も含む。	
試験日	1期	2026年9月26日(土)
	2期	2027年2月22日(月)
出願資格	健康医療科学部 健康栄養学科の4年次に在学中で、指導教員の推薦を受けた者。 ※ただし、2027年3月卒業見込みの者を対象とする。	
出願手続	A 事前相談 指導教員による推薦を希望する者は、出願期間初日の<u>2週間前までに</u>当該教員と相談のうえ、出願先の指導を希望する教員の内諾を得ること。 B 提出書類 本学所定用紙は、大学WEBサイトよりダウンロードする。 ① 志願票 本学所定用紙 ② 卒業見込証明書 ③ 成績証明書 ④ 研究計画概要 本学所定用紙(様式B) ⑤ 履歴書 本学所定用紙(様式C) ⑥ 推薦書 本学所定用紙 ※ 長期履修学生制度(P.21参照)を希望する者は、出願提出書類の他に長期履修学生制度の申請書類も一緒に提出してください。 C 入学検定料 25,000円 コンビニエンスストアで払い込んでください(P.16参照)。 D 出願方法 出願期間内に入学検定料を払い込み、提出書類を郵便局窓口から「速達・簡易書留」で郵送してください。大学窓口での受付はございません。 〈郵送先〉〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23 愛知淑徳大学 アドミッションセンター 大学院入試係	
出願期間	1期	2026年8月27日(木)～9月7日(月)
	2期	2027年1月6日(水)～1月14日(木)
	※締切日消印有効	
選抜方法・配点	書類審査(30点)・面接(70点)	
試験時間割	入室	13:00
	面接	13:15～
試験会場	星が丘キャンパス TEL(052)781-1151(代表)	
合格発表日	1期	2026年10月2日(金)
	2期	2027年2月26日(金)
入学手続時 納入金締切日	1期	2026年11月11日(水)
	2期	2027年3月24日(水)

10月入学の募集はございません。

■グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科 博士前期課程

募 集 人 員	グローバルカルチャー・コミュニケーション専攻(4月入学1期・2期) — 45名 ※募集人員は、一般入試と特別選抜入試も含む。	
試 験 日	1期	2026年9月26日(土)
	2期	2027年2月22日(月)
出 願 資 格	所属する学部・学科(専攻)における指導教員の推薦を受けた者。 ※ただし、2027年3月卒業見込みの者を対象とする。	
出 願 手 続	A 事前相談 指導教員による推薦を希望する者は、出願期間初日の<u>2週間前までに</u>当該教員と相談のうえ、出願先の指導を希望する教員の内諾を得ること。 B 提出書類 本学所定用紙は、大学WEBサイトよりダウンロードする。 ① 志願票 本学所定用紙 ② 卒業見込証明書 ③ 成績証明書 ④ 研究計画概要 本学所定用紙(様式B) ⑤ 履歴書 本学所定用紙(様式C) ⑥ 推薦書 本学所定用紙 C 入学検定料 25,000円 コンビニエンスストアで払い込んでください(P.16参照)。 D 出願方法 出願期間内に入学検定料を払い込み、提出書類を郵便局窓口から「速達・簡易書留」で郵送してください。大学窓口での受付はございません。 〈郵送先〉〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23 愛知淑徳大学 アドミッションセンター 大学院入試係	
出 願 期 間	1期	2026年8月27日(木)～9月7日(月)
	2期	2027年1月6日(水)～1月14日(木)
	※締切日消印有効	
選抜方法・配点	書類審査(50点)・面接(50点)	
試験時間割	入室	13:00
	面接	13:15～
試験会場	星が丘キャンパス TEL(052)781-1151(代表)	
合格発表日	1期	2026年10月2日(金)
	2期	2027年2月26日(金)
入学手続時 納入金締切日	1期	2026年11月11日(水)
	2期	2027年3月24日(水)

10月入学の募集は2027年9月卒業見込みの者を対象におこないません。ただし、2027年6月2日(水)までに申し出(出願書類の提出締切日は2027年6月16日(水))がない場合は、入学試験は実施しません。

■ビジネス研究科 博士前期課程

募集人員	ビジネス専攻(4月入学1期・2期) — 20名	
	※募集人員は、一般入試と特別選抜入試も含む。	
試験日	1期	2026年9月26日(土)
	2期	2027年2月22日(月)
出願資格	所属する学部・学科(専攻)における指導教員(ビジネス学部在学学生の場合はゼミナール担当教員)の推薦を受けた者。 ※ただし、2027年3月卒業見込みの者を対象とする。	
出願手続	A 事前相談 指導教員による推薦を希望する者は、出願期間初日の2週間前までに当該教員と相談のうえ、出願先の指導を希望する教員の内諾を得ること。 B 提出書類 本学所定用紙は、大学WEBサイトよりダウンロードする。 ① 志願票 本学所定用紙 ② 卒業見込証明書 ③ 成績証明書 ④ 研究計画概要 本学所定用紙(様式B) ⑤ 履歴書 本学所定用紙(様式C) ⑥ 推薦書 本学所定用紙 ※ 長期履修学生制度(P.21参照)を希望する者は、出願提出書類の他に長期履修学生制度の申請書類も一緒に提出してください。 C 入学検定料 25,000円 コンビニエンスストアで払い込んでください(P.16参照)。 D 出願方法 出願期間内に入学検定料を払い込み、提出書類を郵便局窓口から「速達・簡易書留」で郵送してください。大学窓口での受付はございません。 〈郵送先〉〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23 愛知淑徳大学 アドミッションセンター 大学院入試係	
出願期間	1期	2026年8月27日(木)～9月7日(月)
	2期	2027年1月6日(水)～1月14日(木)
	※締切日消印有効	
選抜方法・配点	書類審査(50点)・面接(100点)	
試験時間割	入室	13:00
	面接	13:15～
試験会場	星が丘キャンパス TEL(052)781-1151(代表)	
合格発表日	1期	2026年10月2日(金)
	2期	2027年2月26日(金)
入学手続時 納入金締切日	1期	2026年11月11日(水)
	2期	2027年3月24日(水)

10月入学の募集は2027年9月卒業見込みの者を対象におこないます。ただし、2027年6月2日(水)までに申し出(出願書類の提出締切日は2027年6月16日(水))がない場合は、入学試験は実施しません。

合否判定の方法および基準について

〈文化創造研究科、教育学研究科、健康栄養科学研究科、グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科、ビジネス研究科〉

書類審査、面接の評価に基づいて、総合点の上位から順位付けをおこない、合否判定します。なお、同点者は同順位とします。

〈心理医療科学研究科〉

書類審査、外国語試験、面接の評価に基づいて、総合点の上位から順位付けをおこない、合否判定します。なお、同点者は同順位とします。

出願時の注意

- ・出願後(出願書類郵送後)の出願内容の変更・取消は、いかなる理由があっても認めません。
- ・提出された出願書類、入学検定料は返還しません。

＜受験上および修学上の合理的配慮＞

- ・日常生活において、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している方で、試験当日も同様に使用する場合は、試験場設定等の関係から配慮が必要となりますので、必ず問い合わせてください。
- ・出願後の不慮の事故などにより、受験時に配慮を必要とする場合も、速やかに問い合わせてください。

TEL(052)781-7084(直通)

平日/9:00～17:00(土・日・祝日、7月24日、8月8日～8月17日、12月26日～1月5日、2月1日、2月2日、2月4日、2月5日は電話受付をしていません)

〈長期履修学生制度〉

教育学研究科、心理医療科学研究科(臨床心理学専修は博士後期課程のみ)、健康栄養科学研究科、ビジネス研究科に出願する者で、長期履修学生制度(P.21参照)を希望する場合は、入学試験出願時に申請してください。

〈全研究科共通〉

- 志 願 票
- ・左上の整理番号7ケタは、4月入学1期は「813+生年月日の月日(4ケタ)」、4月入学2期は「814+生年月日の月日(4ケタ)」を各自で記入してください(入学検定料払い込みの際にも必要です)。
 - ・専修名は、P.5～7「研究科別各専修概要」を参照してください。

研究計画概要 大学院における志望動機・研究計画(目的や進め方)を1,000～2,000字程度にまとめてください(文化創造研究科国文学専修は手書き可、1000字以内)。

〈文化創造研究科〉

研究計画概要 「希望する指導教員名」の欄に、指導を希望する教員名を記入してください。

《国文学専修》	竹内瑞穂、外山敦子、中野謙一、増井典夫、吉田竜也
《図書館情報学専修》	伊藤真理、三和義秀
《感性工学専修*	親松和浩、國分三輝、佐藤朝美、高原美和、森博子
《創作表現専修》	小倉史、酒井晶代、角田達朗、永井聖剛
《メディアプロデュース専修》	阿部卓也、政倉祐子、宮田雅子、村上泰介
《建築・インテリアデザイン専修》	浅田秀男、清水裕二、田島祐之、古田智基、溝口正人

〈心理医療科学研究科〉

指導教員 **臨床心理学専修**は、出願時に特定の指導教員を決めず、入学後に決定します。なお、臨床心理学専修の入学者は、15名を限度とします。

臨床心理学専修以外の出願者は、出願時に指導を希望する専任教員を決めてください。指導教員は、入学試験時に決定され、途中で変更することは原則として認められません。なお、1名の教員が指導する学生数には上限があります。

《心理学専修》 小川一美、加藤公子、蒲谷慎介、久保南海子、斎藤和志、
丹藤克也、成澤元、平島太郎、松尾貴司、吉崎一人
《社会福祉学専修》 末田邦子、瀧誠、谷口純世
《言語聴覚学専修》 天野成昭、井脇貴子、籠宮隆之、志村栄二、竹中啓介、
船崎康広、牧勝弘
《視覚科学専修》 川嶋英嗣、高橋啓介、高橋伸子、野上豪志、望月浩志
《スポーツ健康医科学専修》 秋山秀彦、大塚圭、加藤憲、加藤友紀、瀬谷安弘、坪田祐基、
林久恵、前野信久、矢野裕介、渡邊良太

志 願 票 「希望指導教員」欄に、指導を希望する教員名を記入してください。臨床心理学専修を希望する場合は「臨床心理学専修」と記入してください。

〈健康栄養科学研究科〉

研究計画概要 「希望する指導教員名」の欄に、指導を希望する教員名を記入してください。教員名は以下のとおりです。

植村和正、榎裕美、武山英磨、東山幸恵、山本博之、百合草誠

〈ビジネス研究科〉

研究計画概要 「希望する指導教員名」の欄に、指導を希望する教員名を記入してください。教員名は以下のとおりです。

《アカウンティング専修》 西崎賢治、三浦克人、森洵太
《マネジメント&エコノミー専修》 浅井敬一郎、新井享、石坂綾子、大塚英揮、鈴木崇文、
藤木美江、三矢幹根、渡邊聡

入学検定料払込方法



お申込みの前に

お申込みの際に、志願票の整理番号(7桁)の入力が必要です。

整理番号メモ
(7桁)

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1 端末申込み

セブン-イレブン
マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>
最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



学び・教育
↓
入学検定料等支払

LAWSON Loppi **MINISTOP Loppi**

<https://www.lawson.co.jp>
<https://www.ministop.co.jp>
最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。



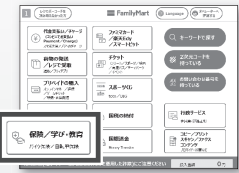
「各種申込(学び)」を含むボタン
↓
学び・教育・各種検定試験
↓
大学・短大・専門・小・中・高校等お支払い

あなたと、コンビニに。
FamilyMart
マルチコピー機

<https://www.family.co.jp>
最寄りの「ファミリーマート」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**保険／学び・教育**」よりお申込みください。



保険／学び・教育
↓
学び・教育
↓
大学・短大・大学院 入学検定料支払いサービス

愛知淑徳大学大学院 をタッチし、申込情報を入力して「**払込票／申込券**」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 支払い

①30分以内に、コンビニエンスストアのレジでお支払いください。

端末より「**払込票**」(マルチコピー機)または「**申込券**」(Loppi、マルチコピー機)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**

*お支払い済みの検定料はコンビニエンスストアやATMでは返金できません。
*お支払期限内に検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料 (税込)	入学検定料が5万円未満	605円
	入学検定料が5万円以上	825円

(セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ)

②お支払い後**チケット**と**レシート**の2種類をお受け取りください。

「**取扱明細書**」(マルチコピー機)または「**払込受領証**」(Loppi)。



(ファミリーマート)

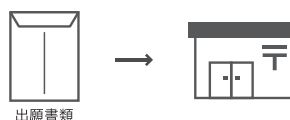
②お支払い後**受領書(レシート)**をお受け取りください。



3 出願

お支払いが完了しましたら、入試要項などの指示に従って必要書類を郵送してください。

コンビニで受け取った「取扱明細書」「払込受領証」または「受領書(レシート)」等は出願が完了するまで大切にお手元に控えておいてください。



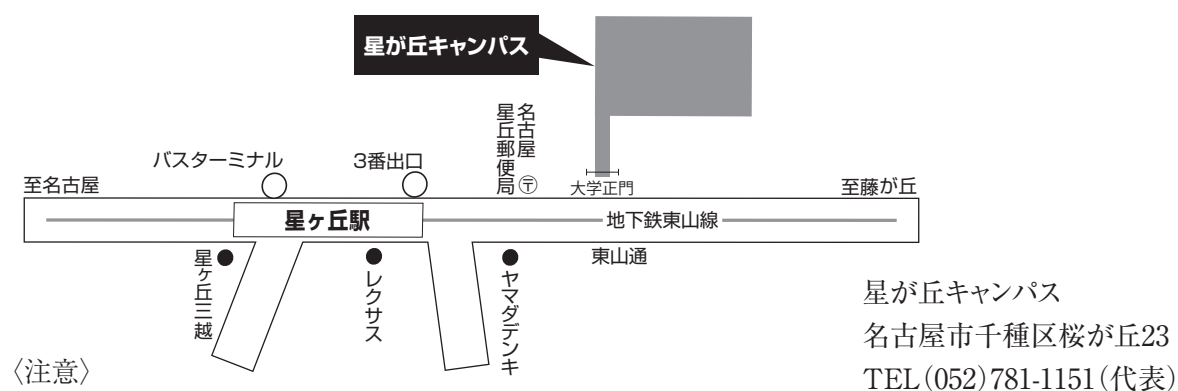
【操作などのお問い合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/> ※コンビニエンスストア店頭ではお応えできません。

受験票・写真票について

1. 出願者には受験票・写真票を郵送します。受験票が届いたら、記載内容を確認してください。
2. 写真票に写真を貼付してください。写真の裏面には、受験番号と氏名を記入してください。
(写真：正面・上半身・無背景、縦4cm×横3cm、出願日前3か月以内に撮影したもの)
※写真票の写真は、入学後の学生証用写真としても使用します。
3. 試験当日は、受験票・写真票を必ず持参してください。
4. 受験票・写真票が試験日3日前までに届かない場合は、アドミッションセンターに問い合わせてください。
5. 入学試験の成績について開示請求する場合は、受験票の提出が必要になりますので、開示請求受付期間まで保管してください。

試験会場(星が丘キャンパス)案内

地下鉄東山線「星ヶ丘駅」3番出口より徒歩約3分



〈注意〉

- ・ 開門時間は8:30です。
- ・ 試験会場に駐車スペースはありませんので、公共交通機関でお越しください。また、近隣の方の迷惑となりますので、送迎を含め、車での来校は固くお断りします。
- ・ 試験当日は、スクールバスおよびキャンパス間の連絡バスは運行しません。

合格発表・入学手続

- 合 格 発 表
1. 合格発表当日の午前10時に、受験者全員に合否通知書(速達)を星が丘キャンパスから発送します。地域によっては到着までに2～3日かかる場合があります。合格発表日から4日経っても合否通知書が到着しない場合は、必ずアドミッションセンターへ問い合わせてください。
 2. 合否結果に関する問い合わせには、応じません。
 3. 氏名に旧字体などが含まれている場合は、合否通知書などの表記を常用漢字の代替文字またはカタカナにて対応することがあります。また、一部字体が変更される場合がありますので、ご了承ください。

- 入 学 手 続
1. 入学手続は、所定の期日までにおこなってください。期日までに手続をおこなわなかった場合は、入学資格を失います。
 2. 入学手続は、所定の期日までに入学手続時納入金を納入し、「入学手続書類」を提出することによって完了します。入学手続書類については、3月発送予定の「新入生のしおり」で案内します。
 3. 入学手続時納入金についての詳細は、合格通知書に同封する「入学手続要項」を参照してください。「合格通知書」「入学手続要項」の不着・誤配を理由とした締切日後の納入は認めません。
 4. 「卒業証明書」を提出できない場合は、入学資格を失います。

学納金

■文化創造研究科 国文学専修／図書館情報学専修／感性工学専修*／
創作表現専修／メディアプロデュース専修

■教育学研究科

■心理医療科学研究科 心理学専修／社会福祉学専修／言語聴覚学専修／視覚科学専修／
スポーツ・健康医科学専修

■グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科

■ビジネス研究科

(単位：円)

入学手続時納入金	後期(10月)納入金
(入 学 金 ^{*1} <免除> 180,000)	
前期授業料 275,000	後期授業料 275,000
前期教育充実費 25,000	後期教育充実費 25,000
前期後援会費 5,000	後期後援会費 5,000
計 305,000	計 305,000
合計 610,000	

■文化創造研究科 建築・インテリアデザイン専修

(単位：円)

入学手続時納入金	後期(10月)納入金
(入 学 金 ^{*1} <免除> 180,000)	
前期授業料 275,000	後期授業料 275,000
前期教育充実費 35,000	後期教育充実費 35,000
前期後援会費 5,000	後期後援会費 5,000
計 315,000	計 315,000
合計 630,000	

■心理医療科学研究科 臨床心理学専修

(単位：円)

入学手続時納入金	後期(10月)納入金
(入 学 金 ^{*1} <免除> 180,000)	
前期授業料 300,000	後期授業料 300,000
前期教育充実費 25,000	後期教育充実費 25,000
前期後援会費 5,000	後期後援会費 5,000
計 330,000	計 330,000
合計 660,000	

■健康栄養科学研究科

(単位：円)

入学手続時納入金	後期(10月)納入金
(入 学 金 ^{*1} <免除> 180,000)	
前期授業料 300,000	後期授業料 300,000
前期教育充実費 35,000	後期教育充実費 35,000
前期後援会費 5,000	後期後援会費 5,000
計 340,000	計 340,000
合計 680,000	

*2027年4月 名称変更

※1 入学金は、愛知淑徳大学の学部入学から8年以内(ただし、編入学した学生は大学学則第6条第2項に規定する在学年数以内)に愛知淑徳大学大学院博士前期課程または修士課程に入学する者(年数には休学期間も含む)に限り免除されます。

〈注〉・後援会は、全員加入です。後援会に代わり、大学が会費を一旦徴収します。

・入学手続時納入金請求の際には、学生教育研究災害傷害保険(入学者全員加入)の2年間分の保険料として1,400円(予定)、ただし心理医療科学研究科・健康栄養科学研究科は1,440円(予定)を併せて徴収します。

外国人留学生の授業料減免について

入学後、「愛知淑徳大学私費外国人留学生授業料減免に関する規程」に基づく選考により、外国人留学生の授業料を30%を限度として減免する制度があります。

奨学金

本学学生に貸与および給付される奨学金の主なものは、下記のとおりです。

1. 日本学生支援機構奨学金（2026年度実績）

種 類		貸 与 金 額		申込
第一種（無利子貸与）	修士課程、博士前期課程	50,000円、88,000円から選択		4月、9月
第一種（無利子貸与）	博士後期課程	80,000円、122,000円から選択		
授業料後払い （無利子貸与）	修士課程、博士前期課程	授業料支援金	授業料相当額（上限60万円／年 ※所属により異なる）	入学後、 直近の募集
		生活費奨学金	0円（利用しない）、20,000円、40,000円から選択	
第二種（有利子貸与）	修士課程、博士前期・後期課程	50,000円、80,000円、100,000円、 130,000円、150,000円の中から選択		4月、9月

2. 愛知淑徳大学大学院学資援助（2026年度実績）

奨励給付奨学金

奨学金の種類		対象者	採用人数	給付額(年額)	選考基準	経済条件	備考
奨励給付奨学金1	第一種	大学院博士前期課程・修士課程の在学中で、特に学業優秀な者。ただし、特別選抜入試で入学した者は除く。	各学年 16名	60万円	各研究科にて決定する。	—	標準修業年限の範囲内で在学中2回まで。
	第二種	大学院博士前期課程・修士課程の在学中で、学業優秀な者。ただし、特別選抜入試で入学した者は除く。	各学年 16名	30万円	各研究科にて決定する。	—	標準修業年限の範囲内で在学中2回まで。
奨励給付奨学金2	大学院 博士後期課程	大学院博士後期課程の在学中で、特に学業優秀な者。ただし、本学博士前期課程または修士課程からただちに入学または進学した者に限る。	各学年 4名	40万円	各研究科にて決定する。	—	標準修業年限の範囲内で在学中3回まで。

特別給付奨学金 ※留学生は対象外

奨学金の種類		対象者	採用人数	給付額(年額)	成績条件	経済条件	備考
特別給付奨学金1 (経済支援)		入学後半年以上経過した大学院生。 経済的理由により、就学が困難な者。	4名	20万円	単位上の基準はないが、標準修業年限（長期履修生は許可された長期履修期間）を超えることなく修了の見込みがある者。	家計支持者又は学費支弁者の年間所得合計から別に定める家計控除を差し引いた額が250万円以下となる者。	在学中1回とする。奨励給付奨学金1又は2を受給している場合は不可。
特別給付奨学金2	死亡・疾病・失業・破産 (緊急支援)	大学院生(1年生前期も可)。主たる家計支持者の死亡、疾病、失業、破産(入学後に発生した事由を対象とし、申請時1年以内の事情に限る)により、経済的に就学が困難な者。	若干名	50万円	単位上の基準はないが、標準修業年限（長期履修生は許可された長期履修期間）を超えることなく修了の見込みがある者。	主たる家計支持者の死亡、疾病、失業、破産による家計急変者。	同事由に対しては、在学中1回とする。
	被災 (災害支援)	大学院生(1年生前期も可)。主たる家計支持者の地震・風水害等の被災(入学後に発生した事由を対象とし、申請時1年以内の事情に限る)により、経済的に就学が困難な者。	若干名	20万円	単位上の基準はないが、標準修業年限（長期履修生は許可された長期履修期間）を超えることなく修了の見込みがある者。	主たる家計支持者の被災による家計急変者。	同事由に対しては、在学中1回とする。

3. その他の奨学金

地方公共団体や民間団体による奨学金制度は、随時案内します。

長期履修学生制度

一部の研究科で長期履修学生制度を実施しています。

長期履修学生制度とは、職業を有している等の事情により時間的制約があり、本来の標準修業年限(修士課程・博士前期課程2年、博士後期課程3年)では履修が困難と認められる者について、長期履修学生として標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に履修することを可能とする制度です。

実施している研究科は、教育学研究科、心理医療科学研究科(臨床心理学専修は博士後期課程のみ)、健康栄養科学研究科、ビジネス研究科です。

詳細は大学WEBサイトで確認してください。

https://www.aasa.ac.jp/examination/gra_exam/



成績開示について

入学試験の成績について、受験者本人から請求があった場合に開示します。成績開示を希望する受験者は、以下の要領で申し込んでください。

1. 開示請求受付期間

2027年4月1日(木)～4月23日(金) 締切日消印有効

2. 申請者

受験者本人に限ります(代理人による申請は不可)

3. 開示内容

受験科目または評価項目ごとの得点、総得点、満点値

4. 提出書類

(1) 入学試験成績開示請求書：大学WEBサイトより、3月下旬からダウンロードできます。

(2) 受験票：コピー不可

(受験票を紛失した場合は、運転免許証、学生証、健康保険証などのコピーを同封してください。)

(3) 開示書送付料：郵便定額小為替 500 円分(「指定受取人」欄の記入は不要)

(4) 住民票の写し：送付先の住所が出願時の住所と異なる場合のみ、送付先が記載された住民票を提出してください。送付先の確認をします。

5. 申し込み方法

＜郵送の場合＞

「簡易書留」でアドミッションセンター宛に郵送してください(封筒に「入学試験成績開示請求」と朱書きする)。

＜持参の場合＞

アドミッションセンターに提出してください(受付：平日/9:00～17:00)。

6. 開示方法

「簡易書留」にて入学試験成績開示請求書記載の住所に「入学試験成績開示書」を郵送します(5月中旬予定)。提出した受験票は、成績開示書とともに返却します。

7. 書類の郵送先・問い合わせ先

愛知淑徳大学 アドミッションセンター

〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23 TEL (052) 781-7084 (直通)

過去の入試問題について

過去の入試問題を大学WEBサイトで公開しています(心理医療科学研究科 外国語試験のみ)。

<https://www.aasa.ac.jp/examination/past.html>



不正行為の取り扱いについて

愛知淑徳大学では、入学試験を厳正に実施し、すべての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。本学の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

1. 不正行為の取り扱いについて

不正行為をおこなった場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、当日それ以降の受験はできなくなります。失格となり、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。その場合、入学検定料は返還しません。試験終了後に不正行為が発覚した場合も、同様に取り扱います。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

2. 次のことをすると不正行為となります

- ①出願書類や解答用紙へ故意に虚偽の記入をすること。
- ②カンニング(試験時間中に試験の教科・科目に関するメモや参考書等を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること等)をすること。
- ③他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをすること。
- ④試験時間中に問題冊子、解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑤「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ⑥試験時間中に使用が許可されていないもの(携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等)、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン・ヘッドホン等の電子機器類や耳栓、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む)、コンパス、電卓、電動式鉛筆削り、下敷き)を使用すること。
- ⑦「解答やめ」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり、解答を続けること。
- ⑧面接試験・プレゼンテーション試験において試験前に、控室等で携帯電話等の電子機器類を使用すること。
- ⑨面接試験・プレゼンテーション試験において試験前に、すでに試験が終了した他の受験者から試験に関する内容を教えてもらうこと。
- ⑩面接試験・プレゼンテーション試験において試験後に、これから試験を受ける他の受験者に試験に関する内容を教えること。

3. 次のことをすると不正行為となる場合があります

- ①試験時間中に、使用が許可されていないもの(携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等)、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン・ヘッドホン等の電子機器類や耳栓、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む)、コンパス、電卓、電動式鉛筆削り、下敷き)をかばん等にしまわず、身に着けていたり手に持っていたりすること。
- ②試験時間中に、携帯電話や時計の音(着信・アラーム・振動音等)を長時間鳴らす等、試験の進行に影響を与えること。
- ③試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申し出をすること。
- ④面接試験・プレゼンテーション試験において試験前に、控室等で携帯電話等の電子機器類を身に着けていたり手に持っていたりすること。
- ⑤試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑥試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑦その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

入試に関する生成AI(ChatGPTなど)の取り扱いについて

入学者選抜において、出願時に提出する書類(「志望理由書」「課題レポート」「自己アピール書」など)については、生成AIによって作成されたものを受験者独自の成果物とはみなしません。よって、生成AIに関する指示がない限り、入学者選抜において受験者が生成AIを使用することは認めません。



問 い 合 わ せ 先

アドミッションセンター TEL (052) 781-7084 (直通)

平日／9:00～17:00

※土・日・祝日、7月24日、8月8日～8月17日、12月26日～1月5日、2月1日、
2月2日、2月4日、2月5日は電話受付をしていません。

<https://www.aasa.ac.jp/>

試験当日の
問い合わせ先

▶ 星が丘キャンパス TEL (052) 781-1151 (代表)